

同時発表：国立大学法人大分大学

平成30年 3月27日
国土交通省九州地方整備局
大分河川国道事務所

大分大学減災・復興デザイン教育研究センターとの 連携・協力に関する協定調印式のお知らせ ～安全・安心な地域づくりのため大分大学と連携・協力協定を締結～

国土交通省九州地方整備局大分河川国道事務所は、災害情報の相互利用、災害に備えた防災・減災に関する取組、調査研究について連携・協力を図ることにより、大分県域の安全・安心な地域づくりに寄与することを目的として、大分大学減災・復興デザイン教育研究センターと連携・協力に関する協定を締結します。

大分河川国道事務所は、昨年6月に大学認定研究チームとして発足した大分大学減災・復興デザイン教育研究センターと、7月九州北部豪雨、9月台風第18号と大分県内を相次いで襲った水害の調査を通じ、防災・減災対策や防災教育の取組について、意見交換や情報共有を重ねてきました。

本年1月より、同センターが常設化されたことを踏まえ、大分圏域の安全・安心な地域づくりに寄与するため、互いに連携・協力することを合意し、以下のとおり協定調印式を挙行しますのでお知らせします。

なお、本協定が、同センターが県内関係各所の中で締結する初めての協定となります。

1. 日 時 : 平成30年4月5日(木) 9:30～10:00
2. 場 所 : 大分大学旦野原キャンパス
産学官連携推進機構棟内 2階 セミナー室
3. 取 材 : 公開
 - ・調印式終了後、質疑応答の時間を設けております
 - ・カメラ撮りは冒頭から可能です
 - ・お車は産学官連携推進機構棟周囲の駐車場にお停めください
4. 内 容 : 調印式及び協定内容：別紙－1
連携・情報共有イメージ（参考資料）：別紙－2

〈問い合わせ先〉

国土交通省九州地方整備局大分河川国道事務所 調査第一課長 吉田 美幸
TEL：(代表) 097-544-4167、(直通) 097-546-1474
ホームページ：<http://www.qsr.mlit.go.jp/oita/>
ツイッター：https://twitter.com/mlit_oita

【式次第】

- 1 概要説明 大分大学減災・復興デザイン教育研究センター次長
- 2 調 印 大分大学減災・復興デザイン教育研究センター長
国土交通省九州地方整備局大分河川国道事務所長
- 3 挨拶 大分大学減災・復興デザイン教育研究センター長
国土交通省九州地方整備局大分河川国道事務所長
- 4 連携活動の事例（予定内容）紹介
- 5 質疑応答

【出席者】

大分大学復興・デザイン教育研究センター：センター長、次長、関係教職員等
国土交通省九州地方整備局大分河川国道事務所：所長、副所長、関係職員等

【協定内容】

本協定は、大分大学減災・復興デザイン教育研究センターと国土交通省九州地方整備局大分河川国道事務所が保有する災害に関わる各種情報（以下「災害関連情報」という。）の相互利用、災害に備えた防災・減災に関する取組、調査研究について連携・協力を図ることにより、大分地域の安全・安心な地域づくりに寄与することを目的としています。

この目的を達成するため、次の事項について連携・協力を行います。

- (1) 平常時・災害時における災害関連情報の相互利用
- (2) 地域防災力向上に資する取組、調査研究及び防災教育に関する連携・協力
- (3) 被災後の復興デザインの共有に関する連携・協力
- (4) その他、上記目的達成のために必要と両者が認める事項

【調印式開催場所案内図】 産学官連携推進機構棟内2階セミナー室





大分大学減災・復興デザイン教育研究センターと 大分河川国道事務所との連携・協力に関する協定



国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure and Transport

大分大学減災・復興デザイン教育研究センター
CERD Center of Education and Research for Disaster Risk Reduction and Redesign

国土交通省九州地方整備局大分河川国道事務所
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

調 査 研 究	防 災 教 育	復 興 デ ザ イン	河 川	道 路	防 災
機動性を持った災害調査、メカニズム、技術支援、関係機関への情報提供・提言、ドローンによる情報収集など	地域・学校における防災教育、地域防災イベントの開催、教養教育科目「防災学」開講、ボランティア教育など	地域づくり、地域分析、災害後の「まち」づくり、文化財復旧支援、学生ボランティア派遣支援など	一級河川大分川、大野川の整備や管理、河川調査、洪水予報、河川愛護活動支援など	国道10号、210号の整備や管理、道路調査、道の駅・日本風景街道・道守などの地域連携	大分川、大野川の減災・防災や水防災教育の取組、災害時における緊急輸送道路の通行確保及び情報提供など

連携・協力

平常時・災害時における
災害関連情報の
相互利用

地域防災力向上に資する
取組、調査研究及び防災
教育に関する連携・協力

被災後の復興デザインの
共有に関する連携・協力



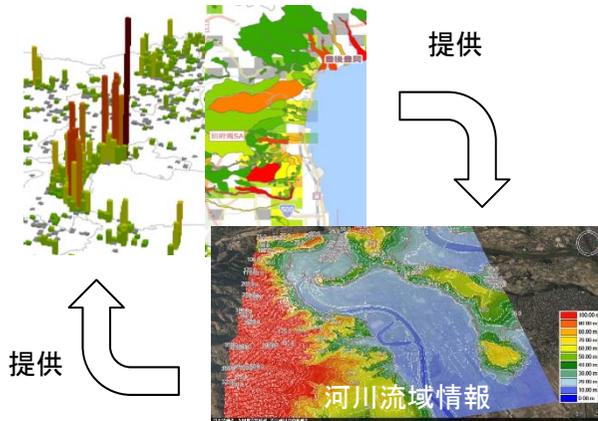
大分県域の安全・安心な地域づくりに寄与



連携・協カイメージ

平常時・災害時における
災害関連情報の相互利用

《平常時》



災害関連情報の相互利用

《災害時》



センターがドローンにより収集した被災地
情報を大分河川国道事務所に提供

地域防災力向上に資する取組、
調査研究及び防災教育に関する連携・協カ

大分河川国道事務所とセンターが協働して水災害に関する地域・学校における防災教育、地域防災イベントを開催

《防災教育》



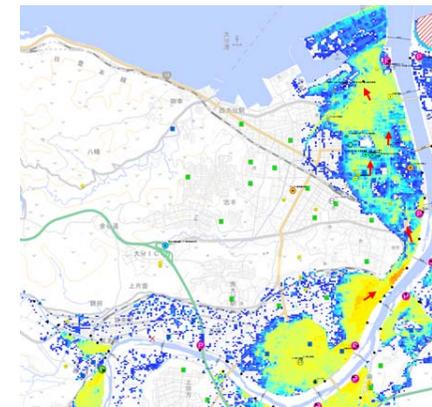
《地域防災イベント》



被災後の復興デザインの共有に
関する連携・協カ

大分河川国道事務所より大分川、大野川の想定最大規模洪水による浸水想定に関する情報を提供し、センターで災害後の「まち」づくりを検討、課題と復興のビジョンを共有

《復興デザイン》



※上記は連携・協カの一例を紹介するものです。写真はイメージとなります。